

2004年10月25日

各位

東京都北区王子一丁目6番8号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(コード番号：4316)

問合せ先：取締役社長室長 上野 圭一

平成17年3月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成16年5月13日に発表しました平成17年3月期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）中間期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成17年3月期中間期の業績予想値の修正

(単位：百万円)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	377	△8	△8
今回予想 (B)	339	△46	△49
増減額 (B-A)	△38	△38	△41
増減率	△10.1%	△475.0%	△512.5%
前期同期実績	294	△47	△47

2. 平成17年3月期通期業績予想値 (ご参考)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	741	0	0
今回予想 (B)	788	0	0
増減額 (B-A)	47	0	0
増減率	6.3%	—	—
前期同期実績	620	△134	△727

3. 修正の理由

上半期につきましては、交通関連分野の新規開発案件が減少し、また生活情報配信においても売上が減少したことから、売上予想が当初予想を下回っております。また、利益率の高いサービスの売上比率が下がった反面、利益率の低いサービスの売上比率が増加していることにより売上原価が増加しておりますが、販売費及び一般管理費は当初予想を下回っております。以上の状況から、平成 17 年 3 月期中間期の業績予想を、売上 339 百万、経常損失 46 百万、当期損失 49 百万に修正させていただきます。

なお、通期につきましては、当初目標の達成及び上積みに向けて既存事業・新規事業の受注と販売拡大に引き続き尽力いたします。

4. 下半期の戦略について

位置情報システム分野・画像配信サービス分野を中心に提案営業を強化し、下半期での受注獲得と納品を目指すとともに、上半期において目標未達となった交通関連分野・新規事業分野においても新商材等の販売を推進し、通期目標の達成のために尽力いたします。

以上

注) 上記業績の予想につきましては、現時点での情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業績予想と乖離することもあり得ますので、ご承知おき下さいますようお願い申し上げます。

注) 本発表数値につきましては、監査法人による監査を受けていない速報値であります。今後の会計監査により決算発表時の数値と若干のずれが生じる可能性がありますので、予めご了承願います。